

晩秋の福島路を飯館村の たすきが駆け抜けました 飯館村チーム力走の記録

第24回 ふくしま 駅伝

11月18日に行われた第24回市町村対抗福島県縦断駅伝競走大会—ふくしま駅伝—に出場した飯館村チーム。練習環境が整わない中、避難先から駆けつけて出場した選手たちの思いと力走のようすを紹介します。

避難先で自主練習を重ねて迎えたレース本番の日

飯館村チームは、全16区のうち第8区以降の後半に出場しました。県外を含む各地に避難する選手の多くが駅伝のための練習を十分行えない環境にありながら、自主練習を重ねることでレース本番に備えました。「村として今年もふくしま駅伝に参加しよう」という呼びかけにこたえて、過去の大会からつながる「村のたすき」をつないだのです。

当日は、風が強く、気温が低い上に時折小雨が降る天候でしたが、各選手は持てる力を発揮して快走。第8区から第16区までの50・8kmを3時間20分59秒の記録で走り抜きました。第10区で10人抜きを演じた主将でエースの大内龍太郎選手は、レース後「厳しいチーム状況でした。主将として自分がやらなければ。自分の走りをして期待に応え村民の皆さんに見ていただきたいと思うて走りました」と話していました。



白河市総合運動公園陸上競技場から福島県庁前までの96.5kmを16区でつなぐ駅伝大会。後半オープン参加の飯館村を含め51市町村が参加しました。

後半参加は中学生区間の第8区からのみ認められます。中学生選手が確保できず41歳の菅野茂則選手が走りました。中学生区間のため自分の記録は残りません。「チームが出場するため」の雄姿です。



第8区 菅野茂則選手

第8区 5.6km

第7中継所 開成山陸上競技場内



第9区 高橋円佳選手

第9区 2.8km

第8中継所 富久山公民館サンライフ郡山前

選手のアクシデントに備え控えとなった飯畑友貴選手をはじめ「いたて健走会」の皆さんが、選手の移動などを支えていました。



第10区 大内龍太郎選手

第10区 9.2km

第9中継所 日和田・こどものもり公園入口



第11区 佐藤ちさき選手

第11区 3.9km

第10中継所 本宮市・榊白岩屋商店前

ラジオ福島の実況中継が大内龍太郎選手の快走と共にチームを紹介。「大内選手が抜き返してくれてうれしかった」と前区の高橋円佳選手。



監督 森永伸一監督



補員 飯畑友貴選手



第13区 大内匡泰選手

第13区 4.8km

第13中継所 安達支所内



第14区 加藤輝彦選手

第14区 5.7km

第14中継所 福島市・松陵中学校前



第15区 佐藤ちさと選手

第15区 3.4km

第15中継所 福島大学入口



第16区 高橋俊希選手

第16区 8.4km

福島県庁前

沿道の観客から「飯館、がんばれ」「行け、負けるな」と大きな声援。走る選手と一緒に村が応援されているように聞こえました。



第12区 佐藤彰洋選手

応援の声が、迎える笑顔が選手と村民の思いをつなぐ

各中継所から県庁前に集合した選手たちを、応援の村民、関係者が笑顔で迎えました。森永伸一監督は、「若い村民が『村のために』という、その思い一つで走ったものです。この気持ちを大切にこれからも一緒に歩んで行きたいです」とあいさつ。佐藤ちさと選手・ちさと選手姉妹は「応援に勇気づけられました。村民の皆さんに感謝しています」と話していました。



(左から) 飯畑友貴選手、高橋俊希選手、佐藤ちさと選手、加藤輝彦選手、大内匡泰選手、佐藤彰洋選手、佐藤ちさき選手、大内龍太郎選手、高橋円佳選手、菅野茂則選手、森永伸一監督 —ゴール後・福島県庁前で